

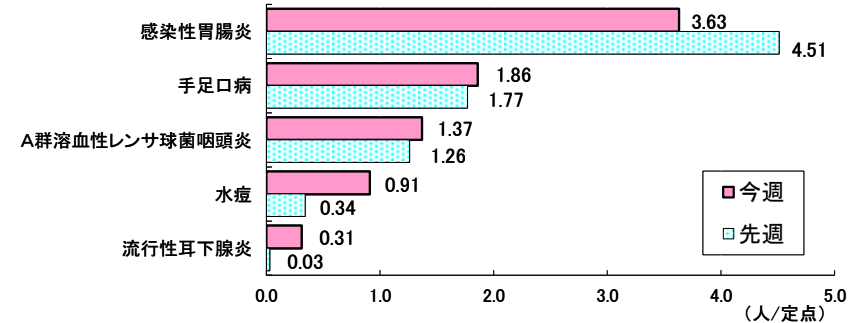


【第24週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で20%減少しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代で増加、大館、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. 手足口病は、県全体で5%増加しています。保健所別では、秋田市、能代、由利本荘で増加、大館、北秋田、秋田中央、大仙で同規模、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で9%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、大仙、湯沢で増加、秋田中央で同規模、秋田市、由利本荘、横手で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患(今週)の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢				
	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減					
RSウイルス感染症	0.03		↘												0.25		↘															
インフルエンザ	0.41	0.15	↘				1.57	0.57	↘												1.14	0.57	↘	0.40		↘	0.20		↘			
咽頭結膜熱	0.31	0.26	↘	0.57	0.57											0.25	↗				0.75	1.00	↗	0.75	1.00	↗	0.25		↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.37	↗	2.29	1.43	↘		1.25	↗	0.50	1.50	↗		0.33	↗	1.25	1.25		2.00	0.75	↘	1.25	3.25	↗	1.00	0.33	↘	1.50	1.75	↗		
感染性胃腸炎	4.51	3.63	↘	4.43	6.00	↗	6.25	4.50	↘	0.50	1.50	↗	5.67	7.00	↗	3.25	3.00	↘	5.00	1.00	↘	5.50	1.25	↘	6.00	5.00	↘	2.75	1.75	↘		
水痘	0.34	0.91	↗	0.71	2.00	↗		0.50	↗				0.33	0.33		1.50	3.00	↗		0.50	↗		0.25	↗								
手足口病	1.77	1.86	↗	2.29	2.86	↗	4.25	4.25		0.50	0.50			0.33	↗	0.75	0.75		0.50	2.00	↗	1.50	1.50		3.00	2.00	↘	2.00	0.75	↘		
伝染性紅斑	0.03	0.06	↗	0.14		↘											0.50	↗														
突発性発しん	0.31	0.17	↘	0.71	0.29	↘	0.50		↘	0.50	0.50						0.25	↗	0.25	0.25		0.25	0.25					0.25		↘		
百日咳	0.03	0.06	↗		0.29	↗										0.25		↘														
ヘルパンギーナ		0.09	↗					0.25	↗			1.00	↗																			
流行性耳下腺炎	0.03	0.31	↗		0.14	↗	0.25	0.75	↗			3.00	↗				0.25	↗														
川崎病																																
急性出血性結膜炎		0.29	↗							*	*			*	*											2.00	↗	*	*			
流行性角結膜炎	0.14	0.29	↗	0.33	0.67	↗				*	*			*	*													*	*			
細菌性髄膜炎																*	*															
無菌性髄膜炎																*	*															
マイコプラズマ肺炎	0.88	0.38	↘							4.00	1.00	↘	1.00		↘	*	*					2.00	1.00	↘						1.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*															
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)		0.25	↗								1.00	↗		1.00	↗	*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点当たりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が北秋田保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が横手保健所管内から1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症が秋田市保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が横手保健所管内から1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、水痘(入院例に限る。)が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-23週		24週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	痘そう			
	ペスト			
	南米出血熱			
二類	急性灰白髄炎			
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	結核	9566	46	3
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	530	3	
	コレラ	1		
	細菌性赤痢	63		
	腸チフス	15		
	バラチフス	7		
	四類	E型肝炎	161	1
ウエストナイル熱				
A型肝炎	136			
エキノコックス症	14			
黄熱				
オウム病	6			
回帰熱				
Q熱				
狂犬病				
鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)				
コクシジオイデス症				
サル痘				
ジカウイルス感染症	1			
重症熱性血小板減少症候群	30			
腎症候性出血熱				
炭疽				
チクングニア熱	1			

トピックス

<咽頭結膜熱について>

咽頭結膜熱は、高熱や喉の痛み、結膜炎等をおこすアデノウイルスによる感染症です。子どもを中心に感染し、プールを介しての感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。夏期に流行がみられますが、近年は冬期にも小規模流行がみられるようになってきています。例年、夏期の流行のピークは7~8月ですが、今年は全国の定点あたり報告数が第23週で0.97と早い立ち上がりになっています(図)。秋田県は0.26(第24週)と現在のところ例年と同規模ですが、今後の動向にご注意ください。

■アデノウイルスとは

アデノウイルスには数多くの型があり、咽頭結膜熱は主に3型(他に4, 7型など)に感染することで発症します。ウイルスは、鼻汁・唾液・眼脂のほか、ふん便にも排出されるため、飛沫感染や手指・タオルを介した接触感染が感染経路になります。症状が治まった後も数週間は便中にウイルスが排出されますので注意が必要です。

■咽頭結膜熱の症状

5~7日の潜伏期間の後に発熱から始まり、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭の痛みが現れます。また、結膜の充血・眼の痛み・羞明(眩しさ)・流涙・眼脂が現れ、これらの症状は3~5日間ほど続くことがあります。感染した型の違いによって、一度治っても再感染することがあります。

■治療・予防について

咽頭結膜熱に効果のある予防接種や薬は無いため、治療は対症療法になります。眼の症状が強いときには、眼科的治療が必要となる場合もあります。

予防としては、**患者との接触を避ける、手洗いうがいを徹底する**、プールや水遊びの後にシャワーを浴びる、タオルの共用はしないなどの感染予防に気を付けましょう。

咽頭結膜熱は、学校保健安全法の学校感染症に指定されており、主要症状(発熱、咽頭発赤、眼の充血)が消失した後2日を経過するまで登校停止とされています。ただし、症状により周囲に感染を拡げる恐れがないと認められたときにはこの限りではありませんので、登校開始日等については主治医にご相談ください。

(参照) 国立感染症研究所感染症疫学センター: 咽頭結膜熱とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/323-pcf-intro.html>

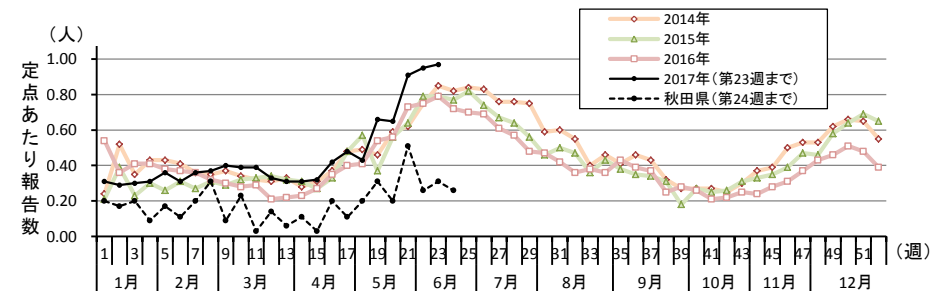


図 全国と秋田県の定点あたり報告数推移 ※2017年: 全国は第23週まで、秋田県は第24週まで

類型	疾患名	1週-23週		24週
		全国	秋田	秋田
四類	つつが虫病	84	6	1
	デング熱	78		
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	64		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	ブルセラ症	1		
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	13		
	野兔病			
	ライム病	1		
	リッサウイルス感染症			
	レジオネラ症	537	1	
	レプトスピラ症	2		
	オムスク出血熱			
キャサナル森林病				
西部ウマ脳炎				
タニ媒介脳炎				
東部ウマ脳炎				
鼻疽				
ペネズエラウマ脳炎				
ヘンドラウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	475	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	132		
	急性脳炎	325	3	
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	76	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	180	1	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1808	14	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	272	7	1
	後天性免疫不全症候群	589		
	ジアルジア症	31		
	先天性風しん症候群			
	梅毒	2210	2	
	破傷風	32		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	35		
	風しん	43		
麻しん	164			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	628	4	1	
水痘(入院例に限る。)	129	4	1	
播種性クリプトコックス症	62	1		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11	1		



### 感染性胃腸炎情報

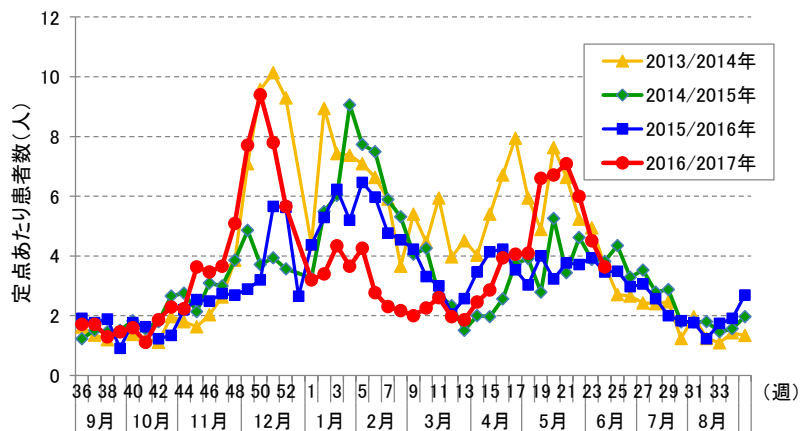


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

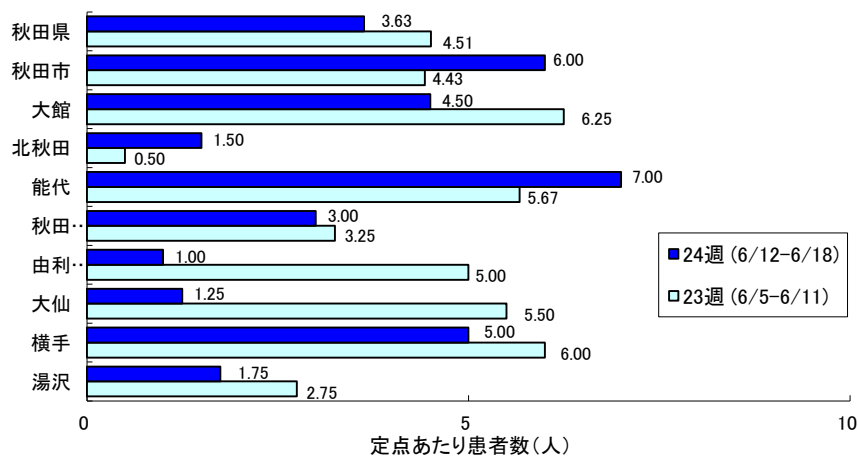


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

### 社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

6月15日から6月21日の間に、感染性胃腸炎の集団発生は報告されませんでした。

#### ★感染性胃腸炎の集団発生状況(秋田市分含む)

平成29年度 26施設 発症者 327名  
 <社会福祉施設6、保育園・幼稚園20>

#### 【参考】

平成28年度 60施設 発症者 1,066名  
 <社会福祉施設5、保育園・幼稚園53、学校1、宿泊施設1>

### インフルエンザによる集団発生報告

6月15日から6月21日の間に、インフルエンザによる集団発生の報告が1件ありました。

所在地	施設名称	発生届出日	有症者数
鹿角市	わんぱくはうす	6/15	園児86名のうち9名 職員28名のうち1名 計10名

#### ○今シーズンの報告状況

累計施設数122：社会福祉施設63、保育園・幼稚園46、病院13

#### <参考>

#### ○昨シーズンの報告数

累計施設数82：社会福祉施設17、保育園・幼稚園59、病院6

### つつが虫病情報

つつが虫病の発生報告が1件ありました。

#### No.7

届出年月日	平成29年6月14日
患者の住所	北秋田保健所管内
患者の年齢	80代
性別	女性
症状	発熱、発疹、刺し口(胸部)
診断年月日	平成29年6月14日

RAPIDs<topics> Report on Akita Prefectural Infectious Disease situation

<http://idsc.pref.akita.jp/kss/>



秋田県感染症発生情報

専門家向け情報

秋田県健康福祉部健康推進課 TEL: 018-860-1424/ FAX: 018-860-3821

秋田県感染症情報センター(秋田県健康環境センター内) TEL: 018-832-5005/ FAX: 018-832-5047

【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	大館(4.25)
流行性耳下腺炎	北秋田(3.00)	-
急性出血性結膜炎	-	横手(2.00)

感染症発生動向調査における注意報・警報について(解説)

【警報・注意報の定義】

- 1) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
- 2) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。

対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報 基準値(人/定点)	対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報 基準値(人/定点)
	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)			開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	30	10	10	百日咳	1	0.1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
感染性胃腸炎	20	12	-	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
水痘	7	4	4	流行性角結膜炎	8	4	-
手足口病	5	2	-	伝染性紅斑	2	1	-